

令和3年7月19日

東京オリンピックにおけるアイヌ文化とウポポイの 情報発信について

我が国は、先住民族であるアイヌの政策に積極的に取り組んでおり、2019年4月にアイヌ施策推進法が成立し、2020年7月にはアイヌ文化復興・創造等のための拠点である「民族共生象徴空間」(ウポポイ)(北海道 白老町^{しらおいちょう})が開業したところです。

今般、8月の札幌での東京オリンピックマラソン・競歩で注目が集まる機会を活用し、アイヌ舞踊の映像を、オリンピックの一部として、国内外に広く発信することにより、アイヌ文化とウポポイの普及・啓発を図ることとしておりますので、お知らせいたします。

詳細については、添付資料をご覧ください。

(資料) 東京オリンピックの際のアイヌ文化とウポポイの発信について

【取材等について】

- ・東京オリンピックマラソン・競歩におけるアイヌ舞踊について、取材を希望される方は、7月27日(火)15時までに、所属、氏名、連絡先電話番号等を以下の登録先まで、メールまたは打ちにて御登録ください。
- ・登録先 upopoy2021@vectorinc.co.jp
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、取材については必要最小限とし、「手洗い」や「マスク着用を含む咳エチケット」等に御協力をお願いいたします。また、風邪のような症状がある場合には、御自身の体調を優先し、取材を控えていただきますよう併せてお願いいたします。
- ・なお、東京オリンピックマラソン・競歩におけるアイヌ舞踊については、無観客で行いますので、一般の方の御来場は御遠慮ください。

【本件担当・取材に関する問合せ先】

内閣官房アイヌ総合政策室 實重、川崎 電話 03-5253-8759 (直通)

【関係機関連絡先】

国土交通省北海道局総務課 蹴場、高屋敷 電話 03-5253-8741 (直通)

文化庁企画調整課 内村、小笠原 電話 03-6734-4785 (直通)

北海道環境生活部アイヌ政策課 田名瀬、小島 電話 011-206-6024 (直通)

札幌市スポーツ局東京オリンピック・パラリンピック担当課 奥木
電話 011-211-3007 (直通)

(公財)アイヌ民族文化財団 佐々木、塩谷 電話 011-206-7427 (直通)

令和3年7月17日

内閣官房、国土交通省、文化庁
北海道、札幌市、
公益財団法人アイヌ民族文化財団

東京オリンピックの際のアイヌ文化とウポポイの発信について

- 1 我が国は、先住民族であるアイヌの政策に積極的に取り組んでおり、2019年4月にはアイヌ施策推進法も成立し、2020年7月には民族共生象徴空間（ウポポイ）が開業したところ。東京オリンピックの機会にアイヌについて国内外に広く発信することは極めて重要。
- 2 今般、8月の札幌での東京オリンピックマラソン・競歩で注目が集まる機会を活用し、アイヌ舞踊の映像を、オリンピックの一部として、国内外に広く発信することにより、アイヌ文化・ウポポイの普及・啓発を図る。（別紙1）
- 3 アイヌ舞踊『ウポポ ヤン リムセ ヤン』（唄いましょう。踊りましょう。）は、「世界が心をつにすることで、現代の様々な課題を解決していきましょう。」とするアイヌの願いとその取組のコンセプトである『パラル（大きな道）：ひとつになる道』を体現する舞踊プログラム。この舞踊には、アイヌ民族が大切にしてきた礼節があり、森羅万象を慈しむ心があり、世界とつながり共生を目指す姿勢がある。これはSDGsの考え方を太古の昔からアイヌ民族が体現してきたことを示すもの。
「この世の中に、意味のない存在なんてひとつもない。ともに尊重し合うことで、優しく穏やかな世界へ向かいましょう。」アイヌ民族からのこのメッセージが世界に届くことを願って、唄い、踊るものであり、北海道各地の伝統的なアイヌの15の踊りを幼子も含む老若男女が踊るもの（別紙2）。全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的とするアイヌ施策推進法や多様性を重視するオリンピックの精神、今大会の「大会ビジョン」にも沿ったもの。
- 4 また、東京オリンピックはアイヌ文化とウポポイについて広く世界に発信するチャンスであるため、アイヌ舞踊のみならず、広くアイヌ文化とウポポイについて7月からNHK WORLD-JAPAN/jibtvで特別番組を国際放送。

（参考資料）

別紙1 東京オリンピックマラソン・競歩におけるアイヌ舞踊について、地図

別紙2 アイヌ文化発信パフォーマンスの概要

（注）今後の状況次第で変更の可能性あり

東京オリンピックマラソン・競歩におけるアイヌ舞踊について

(1) 概要

【会場】 さっぽろテレビ塔前の広場（北海道札幌市中央区大通西一丁目）

※ステージ全体約 400 m²（地図は別添）

※1回あたりの舞踊人数 約 80 人

※人が集まることを避けるため外から見えないよう設置した会場において無観客で実施

【日時】 競技初日の 8/5 の夜及び 8/5 から 8/8 までのマラソン・競歩競技の前

	競技等の実施予定	(参考) 放送局	アイヌ舞踊の 実施予定
8/5	男子 20km 競歩 (16:30~18:05)	NHK	8/5 15:30~16:10
	夜のプログラム	調整中	8/5 19:00~19:40
8/6	男子 50km 競歩 (05:30~10:00)	テレ朝	舞踊は予定せず
	女子 20km 競歩 (16:30~18:15)	未定	8/6 15:30~16:10
8/7	女子マラソン (07:00~10:15)	日テレ	8/7 6:00~6:40
8/8	男子マラソン (07:00~09:45)	NHK	8/8 6:00~6:40

※8/6 は女子 20km 競歩の際のみ舞踊を実施。

※このほか、アイヌ舞踊はウポポイ等 5 か所（阿寒、上川、札幌、平取、白老）で事前収録し、テレビ CM で放送。

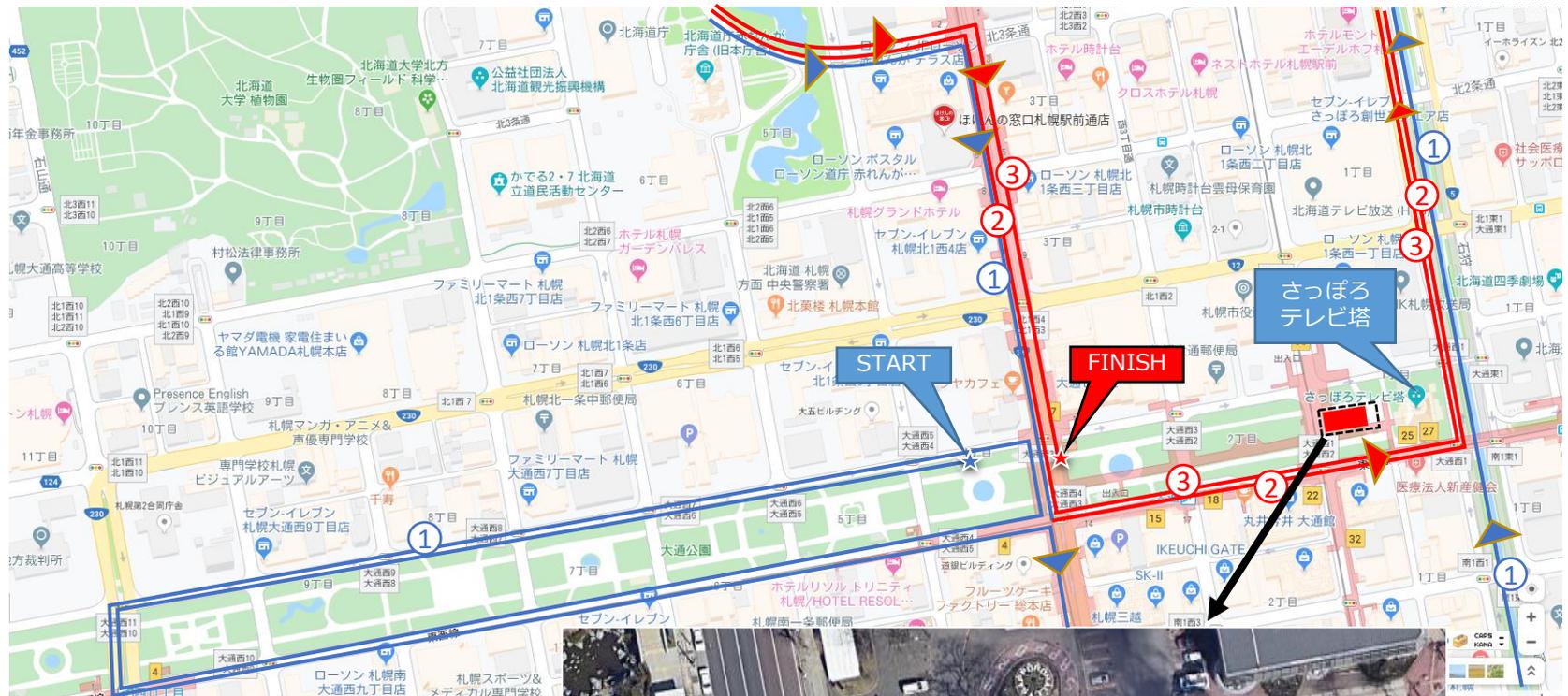
【その他】

主催者：国（内閣官房、国土交通省、文化庁）、北海道、札幌市、

公益財団法人アイヌ民族文化財団

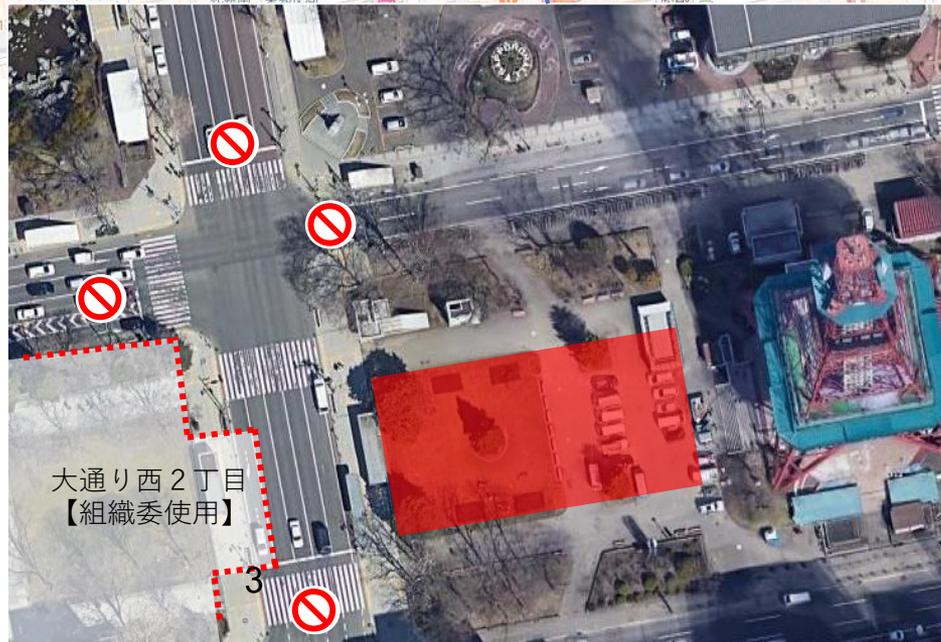
2020 オリンピック・パラリンピック東京大会組織委員会協力、東京オリンピックの公認プログラム

オリンピックのマラソン・競歩におけるアイヌ舞踊について



マラソンコース

- 1 周目
- 2, 3 周目



別紙2 アイヌ文化発信パフォーマンスの概要

アイヌ舞踊『ウポポ ヤン リムセ ヤン』（唄いましょう。踊りましょう。）は、「世界が心を一つにすることで、現代の様々な課題を解決していきましょう。」とするアイヌの願いとその取組のコンセプトである『パラル（大きな道）：ひとつになる道』を体現する舞踊プログラムです。この舞踊には、アイヌ民族が大切にしてきた礼節があり、森羅万象を慈しむ心があり、世界とつながり共生を目指す姿勢があります。これはSDGsの考え方を太古の昔からアイヌ民族が体現してきたことを示すものです。

「この世の中に、意味のない存在なんてひとつもない。ともに尊重し合うことで、優しく穏やかな世界へ向かいましょう。」アイヌ民族からのこのメッセージが世界に届くことを願って、唄い、踊る。

オリンピックのマラソン・競歩の際に、3つのテーマに沿って、15ほどの各地の踊りを4日間にわたり、地域のリーダー、習熟者、初心者、子供、老人、車椅子の人たちも含めたメンバーで踊ります。この他、各地のメンバーが阿寒、上川、札幌、平取、白老でアイヌ舞踊を事前収録を行いました。

(1) イランカラプテ：

特別なゲストとの出会いに際して使う、丁寧なあいさつの言葉です。

挨拶の際に相手の気持ちを思い、敬意をもって接するという姿勢はアイヌ民族の考え方、感じ方、すべてに共通しています。世界中から集まる選手、スタッフ、お客様を、敬意をもって迎えます。

魔を祓い清め、はじめましてと歓迎のご挨拶。そして、この舞台が私たちと皆様を繋ぐ良き出会いとなりますよう、アイヌの儀式で始めたいと思います。

(2) カント オロ ワ ヤク サク ノ アランケプ シネプ カ イサム：

「天から役目なしに降ろされたものはひとつもない」

森羅万象にカムイが宿るというアイヌの世界観をあらわすことばで、すべての人、すべてのものにそれぞれの役割を認め、敬うという考え方です。

自然の風景や鳥を愛でる心。過ごす日々の中で道具を大切に作る心。そんな日常には、歌遊びもあります。そんな一つ一つの暮らしを大切にしていくことを伝えられ、そして伝えていきます。

自然の生き物たちだって、意味もなくこの世に存在するものではありません。一見、人間にとって害獣害虫といわれている存在であっても、全てに意味はあるのだと私たちアイヌは考えます。

(3) ウレシパ モシリ：「世界は育てあう大地」

ウレシパとは「育てあう」という意味です。

ありとあらゆるものが育てあい、支えあうことでこの世界が成り立っているというアイヌの考え方を表しています。

アイヌと皆様、アイヌと世界が繋がり、世界が尊敬し合い、手を取り合える世の中を願って、一緒に前へ進んでいきましょう。